

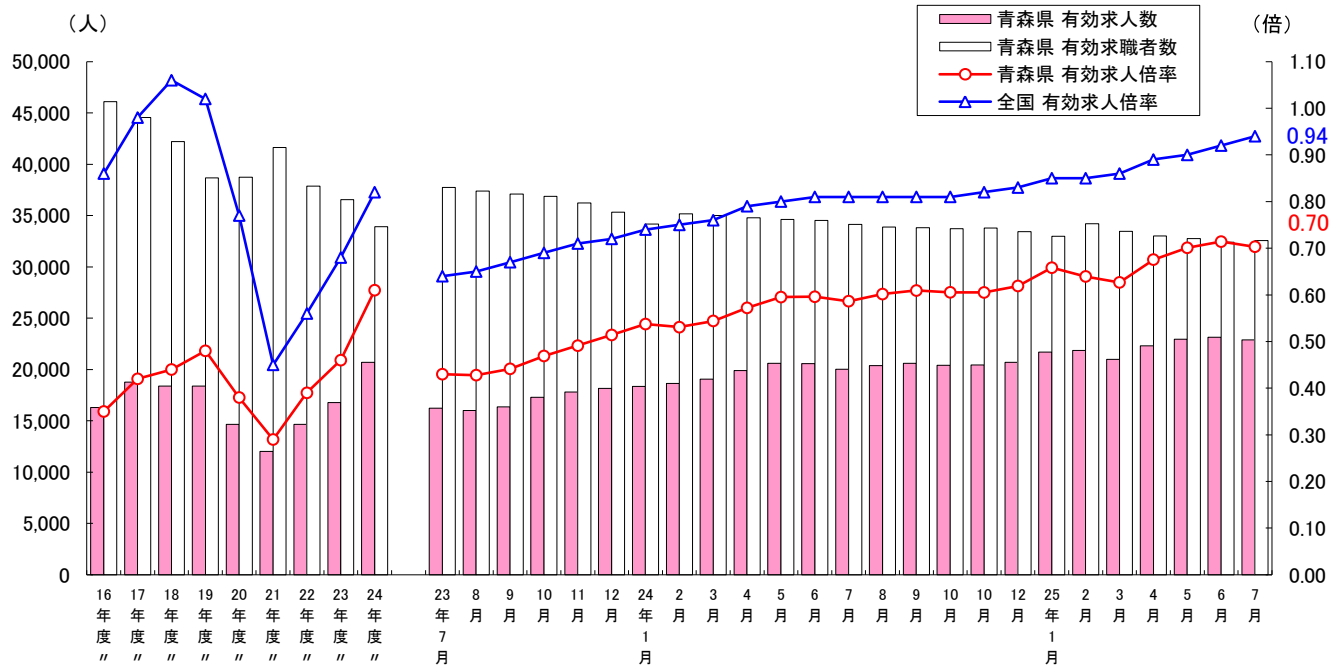
# 最近の雇用情勢について

(平成25年7月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

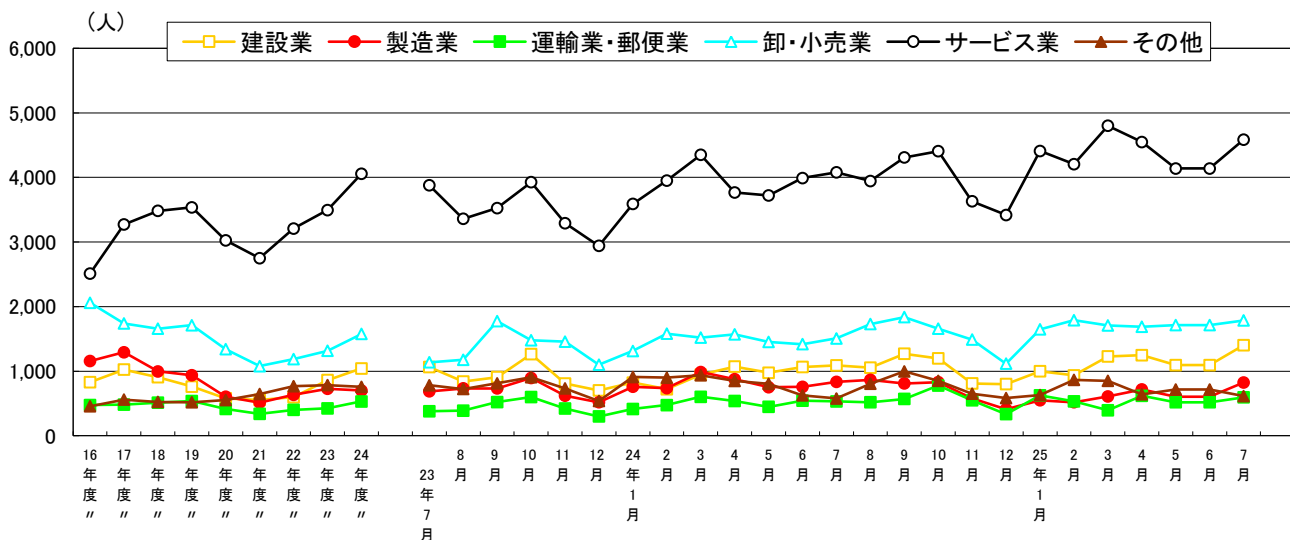
7月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.1%減少の22,889人、有効求職者数(同)は0.4%増加の32,548人で、有効求人倍率(同)は前月を0.01ポイント下回る0.70倍となった。



## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

7月の新規求人(原数値)は前年同月比13.8%(1,190人)増加、前月比10.9%(963人)増加の9,805人。

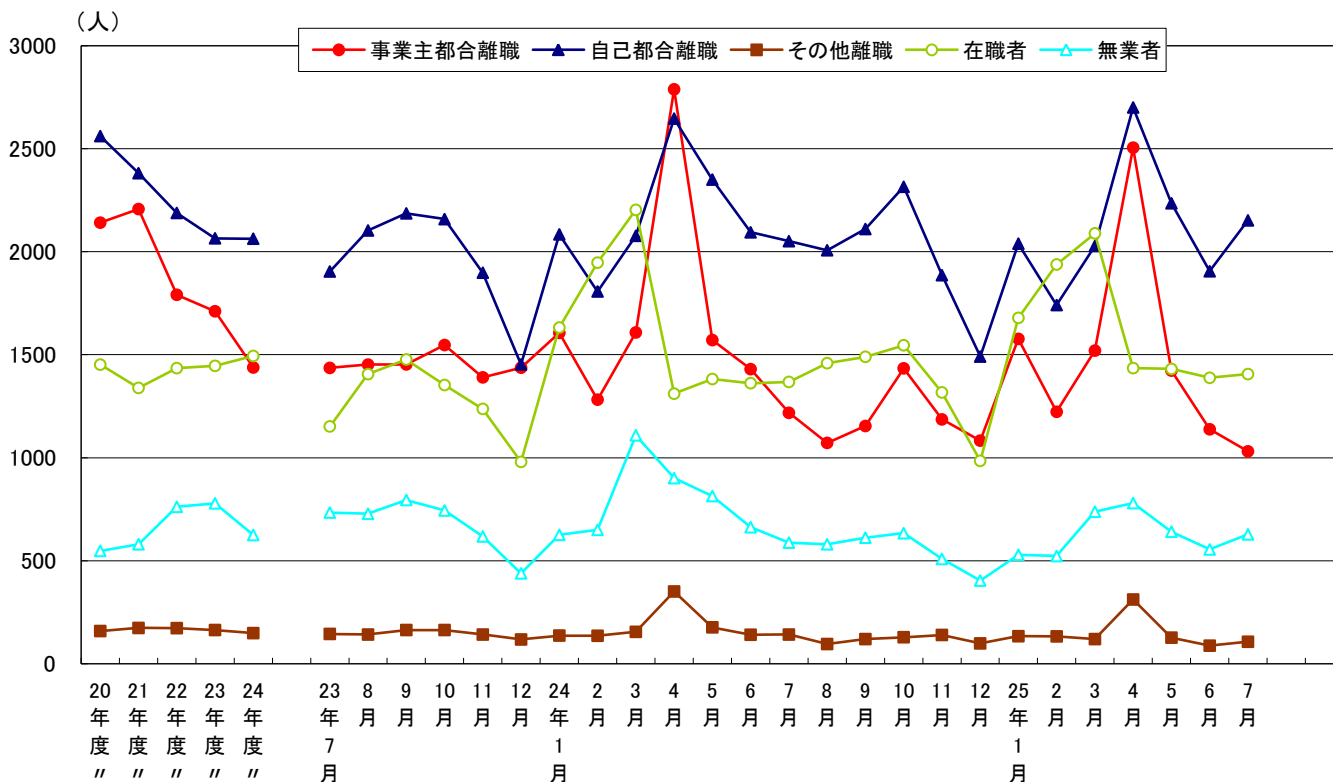
産業別に前年同月と比較すると、建設業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業等が増加し、製造業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、教育、学習支援業、複合サービス事業等では減少となった。製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、窯業・土石製品製造業、電気機械器具製造業等が増加し、パルプ・紙・紙加工品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

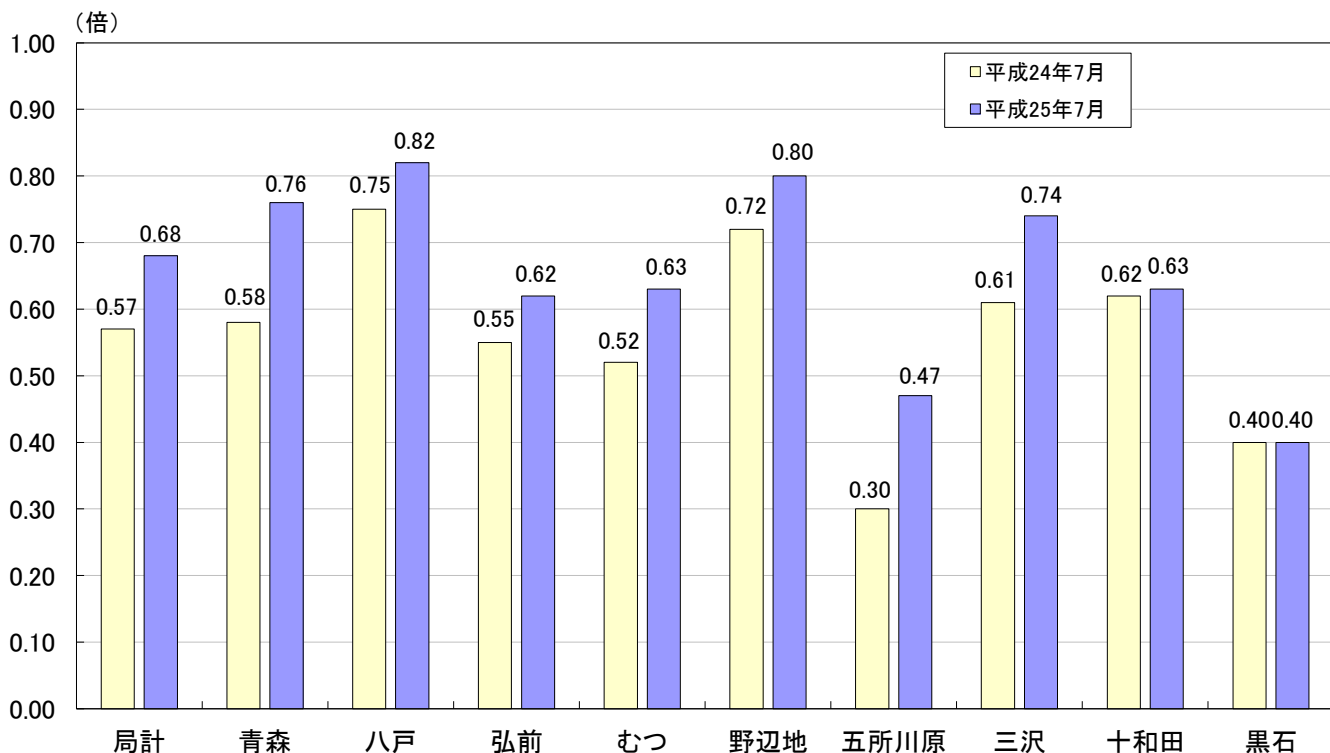
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

7月の新規求職者数は、前年同月比0.8% (43人)減少、前月比4.9% (250人)増加の5,324人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は2.8% (38人)増加し、離職者は3.5% (121人)の減少、無業者は6.8% (40人)の増加となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は15.4% (187人)の減少、自己都合は4.9% (101人)の増加となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

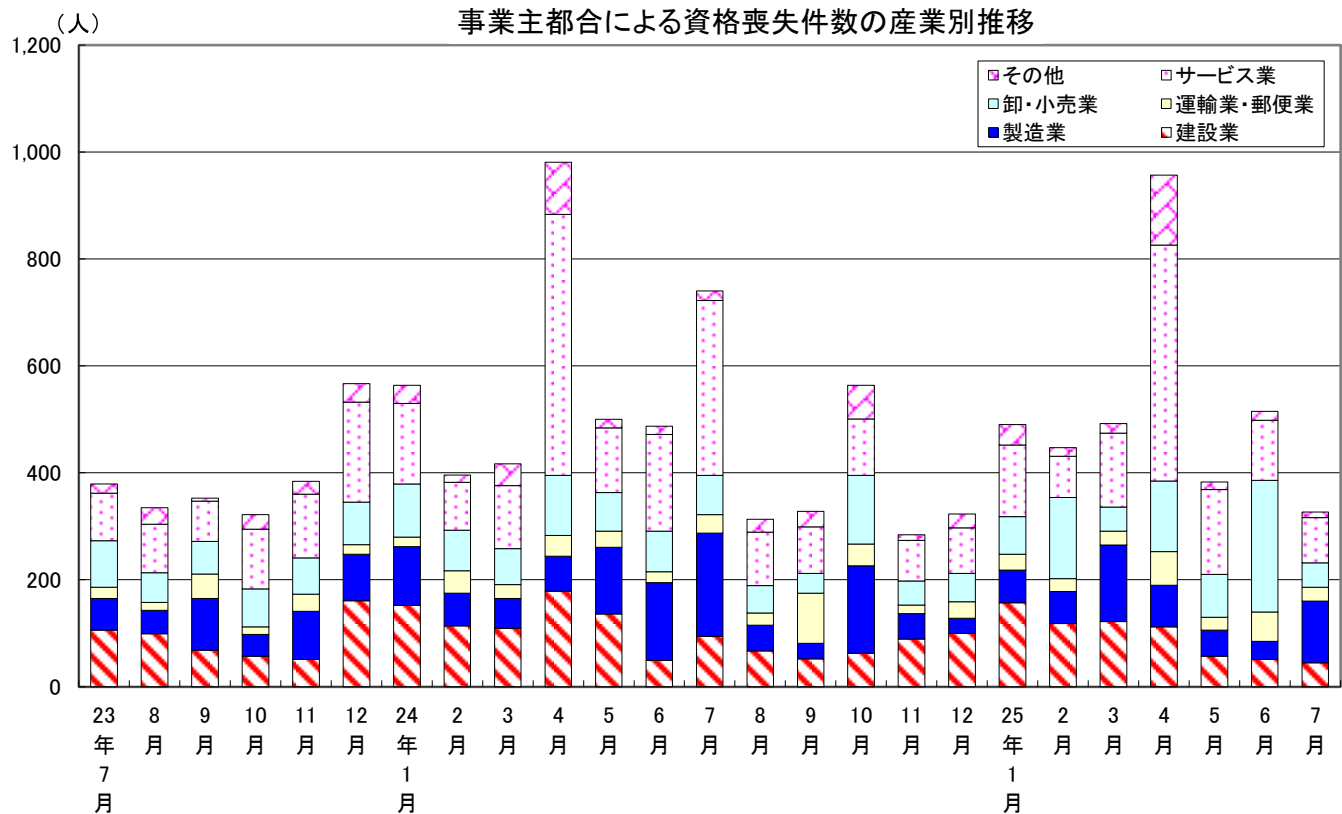
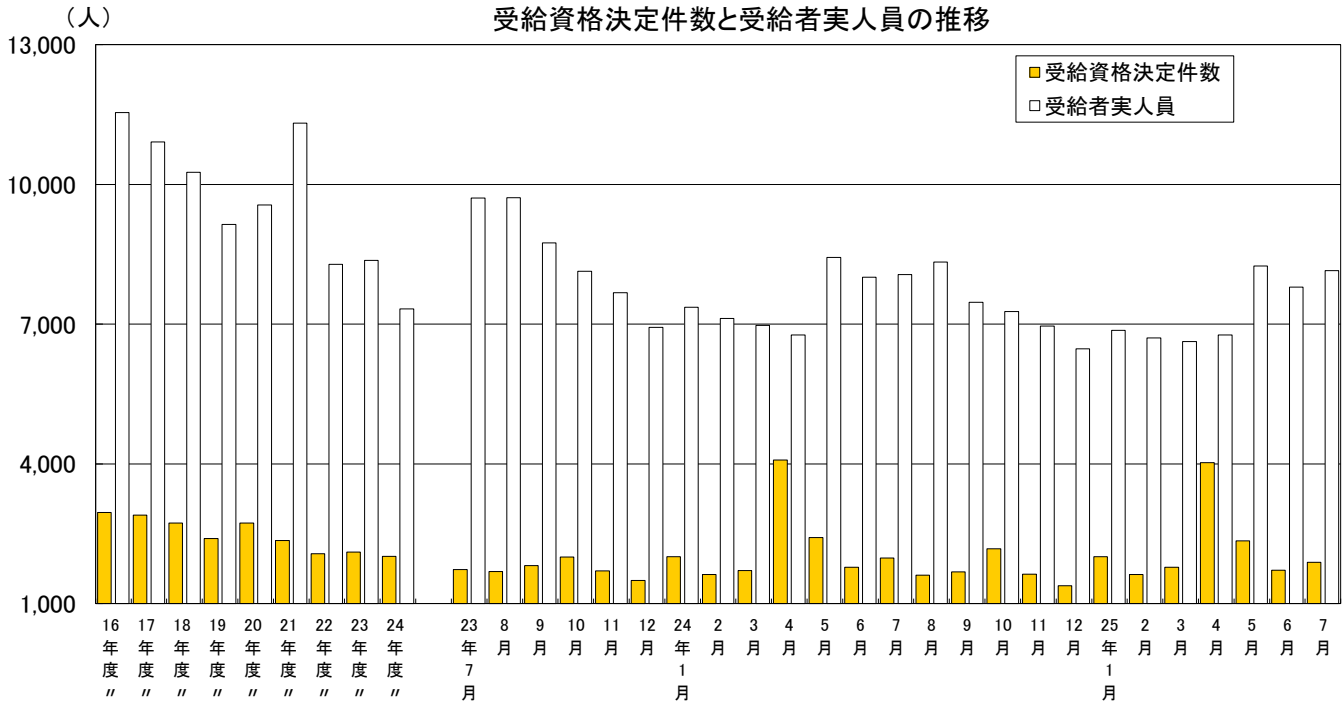
7月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.68倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



## V 雇用保険の状況

7月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比1.0%（80人）増加、前月比では4.5%（352人）増加の8,148人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.9%（97件）減少、前月比では9.8%（168件）増加の1,886件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比55.8%（413人）減少、前月比36.5%（188人）減少の327人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。  
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。